



燕市立燕東小学校 学校だより

令和8年1月9日

No. 8

↓学校ホームページ

# あすなる



## がんばりたいこと

校長 鈴木 華奈子

冬休み明け、子どもたちが登校します。

「おはようございます!」「明けましておめでとうございます」

「今年もよろしくお願いします」

玄関で新年のあいさつをニコニコと交わす子どもたち。

教室に入っても「明けまして…」の明るい声。

教室の黒板や掲示板上にも、新年・新学期の言葉が溢れています。



<2学期 がんばったこと 成長したこと>

「みんなと仲良くして、親切にしました」「給食、減らさないで食べられるようになりました」

<3学期 がんばりたいこと>

「友達ともっと仲良くなりたいです」「手をあげたいです。そして、みんなの前で答えを言いたいです。」

子どもたちの思いのこもった文字で埋まった掲示物。子どもたちの“やる気”で輝くようです。

「午年（うまどし） みんなで力を合わせれば、何でもきっと『ウマ』くいく!!」

「うまくいかないときは…、う～まあ いくつかの気持ちも大事」

今年も、子どもたち一人一人が新しいことに挑戦し、仲間とともに伸びあえる一年にしたいと考えています。

挑戦は、いつも思うようにいくとは限りません。うまくいかない経験も、次につながる大切な学びです。気持ちを切り替え、再び前を向いて歩き出すことができる——そんなしなやかな心（レジリエンス）も育んでいきたいと思います。

本年も引き続きよろしくお願いいたします。



\*\*\*\*\*【職員紹介】 1月から着任した職員を紹介します！\*\*\*\*\*

学習支援員の〇〇です。  
1～6年生の学級を担当します。  
よろしくお願いいたします。



## 2 学期学校評価～重点課題の成果と課題～

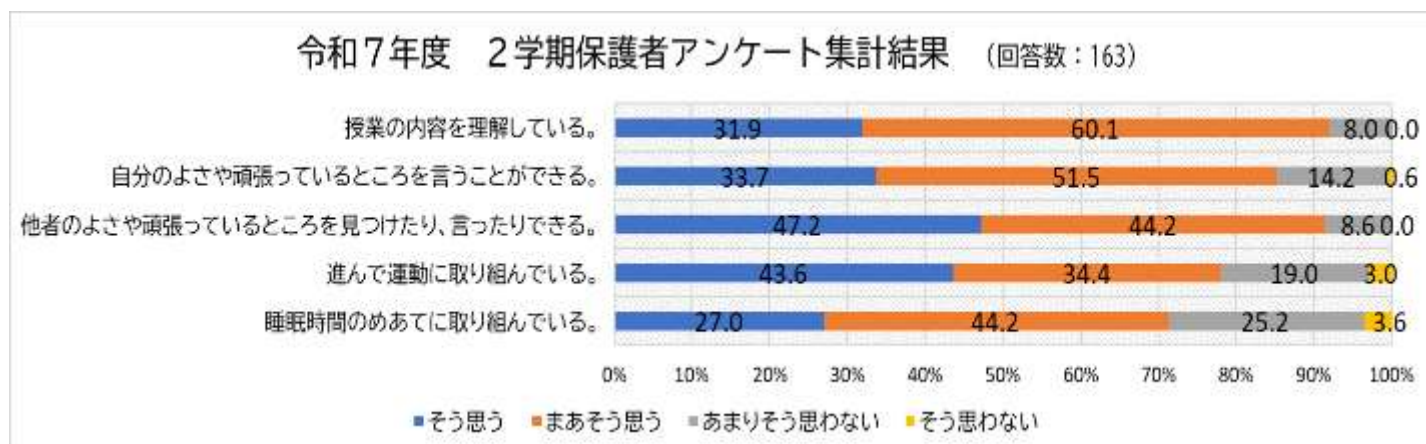
「学力の向上」「豊かな心の育成」「体力の向上」の3つの重点課題について、2学期の取組をふりかえり、成果と課題をまとめました。課題の克服に向け、3学期も取組を進めていきます。

重点課題	成果	課題
学力の向上	<p>自分の学びを振り返る際の視点をまとめた掲示物「学びのアカモン」を活用したことで、単なる感想に留まらない振り返りが増えました。「自分の考えがどう変わったか」という自己の成長や、「友達の考えのよさ」に目を向けた記述が多く見られるようになりました。</p> <p>算数で解き方を自分の言葉で説明したり、友達と教え合ったり、共に考えたりする姿が見られるなど、学んだ知識を活用して表現する力が着実に育っています。</p>	<p>振り返りの内容にはまだ個人差があります。今後は「今日はここを重点的に振り返ろう」といった焦点化を行い、教員による価値付け（評価）を丁寧に行うことで、一人ひとりの記述の質を高めていきます。</p> <p>書いて表現することは得意でも、発言することに苦手意識がある児童もいます。友達の発言をつなぐ対話の場や、少人数のグループ活動をさらに増やすとともに、安心して発言できる人間関係作りに取り組んでいきます。</p>
	<p>全校が共通して、「東っ子の学び方」を活用したテストの受け方指導を行っています。見直しが習慣化し、テスト返却後にさらに自学で間違いを直すことで力をつけようとする児童が増えました。宿題や自学の習慣は、どの子どもたちにも定着しつつあります。</p>	<p>全体的にはよい傾向ですが、「読む」ということを苦手と感じている児童がいます。言葉をまとまりとして理解できるように、文に印をつけたり、日々の音読を継続したりすることはとても有効です。正しく読む力を伸ばせるよう、今後も指導を継続していきます。</p>
豊かな心の育成	<p>授業や行事など様々な活動を通して、達成感や成就感を感じたり、自分のがんばりやよさを振り返る場を設定したりすることで、「できた」「これでいいんだ」「これが自分のいいところ」など前向きな気持ちを積み重ねる機会となりました。また、他者（友達や教師）からのプラス面の評価をもらうことで、再度自分を見つめ自分のがんばりやよさを改めて感じる姿が見られるようになってきました。</p>	<p>一人一人によさがあり、色々な活動に対してがんばっている姿があちらこちらで見られます。しかし、他者と自分を比べすぎたり、自分のマイナス面ばかり気になってしまったりする児童もいます。一人一人が活躍する場や認められる場をつくったり、普段の生活からも子どもたちのがんばりやそれぞれのよさを積極的に伝えたりすることで、温かい交流を継続し、積み重ねていきます。</p>
	<p>各学級で、友達の頑張りやよいところを伝える活動を意図的に行うことで、友達の頑張りやよさに気付き、それを具体的に伝えることができるようになってきました。また、様々な行事の前後に、異学年で交流する機会を設定し、活動後に「あすなるの実」に相手のよさや頑張りを書いて交換する活動を繰り返してきました。自分なりの言葉で相手への感謝を伝えたり、色を付けたりしてもらって嬉しくなるように書こうという気持ちが高まっています。</p>	<p>友達のよさや頑張りを伝え合う活動を継続して行いながら、新しい取組を取り入れたり、工夫したりしていきます。また、日々のあすなる班での清掃活動の際に、ペアで相手の頑張りやよかったところを伝え合う時間を設けていきます。他にも異学年で活動を行った後に「あすなるの実」を書いて交換するなど、活動を通して見つけたよさや頑張りを書いて交換し合う活動を継続し、見付けてもらった自分の頑張りやよさを見返すことができるようにあすなるの木に実を増やしていきます。</p>
体力の向上	<p>よりよい動きを実現するために、友達のよい動きを伝え合ったり、ICTを活用し、自分の動きを見ながらどうすればよりよい動きになるかを考えたりする活動に取り組んでいます。できるまでの過程を重視することで「次はこうしてみよう」という前向きな意欲につながっています。</p>	<p>冬場は、休み時間に外で体を動かすことが難しいため、木の部屋や学習室などで体を動かせる環境を整えています。2月には、体力づくりの一環として「なわとび週間」を予定しています。冬場は運動量が減りやすい時期ですので、ご家庭でもお風呂上がりなどにストレッチをするなど、運動への意欲が継続できるよう温かい励ましとご協力をお願いいたします。</p>
	<p>2回目のげんきアップ週間中に学校閉鎖となり、結果の集計はできませんでしたが、子どもたちはカードに振り返りをしっかり書いて提出してくれました。また、保護者の方から温かいメッセージをいただき嬉しかったことと思います。学校に毎日カードを提出してもらい、励ましながら取り組んだことも意識を高めることにつながったと思います。</p>	<p>取組には個人差があり、学校での働きかけにも難しさを感じることもあります。学期に1回のげんきアップ週間の取組を大切に、個人懇談で保護者の方と話題にしなが、一緒に考えていければと思います。事前指導に力を入れて、実現可能な目標になるようにアドバイスしながら、ねばり強く取り組んでいきたいと思っています。</p>

# 保護者アンケートありがとうございました

2学期末の保護者アンケートの結果がまとまりましたのでお知らせいたします。たくさんの貴重なご意見をいただきました。今後の教育活動に生かしていきます。

## 【2学期保護者アンケート集計結果】



「授業理解」や「他者理解」に関して肯定的評価を多くいただきました。一方で、「睡眠時間」については、子どもの肯定的評価(90.4%)、保護者の肯定的評価(71.2%)と大きな差がありました。この認識のズレが生まれる要因を考えるとともに、睡眠時間についての指導や言葉掛けを継続することの重要性を再確認しました。引き続き取組を行っていきますので、ご協力をお願いいたします。

## 【自由記述から】

自由記述では、学校の取組に対する意見・要望をいただきました。紙面の関係で、すべての意見・要望に対して回答できませんが、全体に関わる事柄について、以下のとおり回答いたします。

・ 行事のボランティアに参加してみたいのですが、募集が出た時には仕事の予定が動かさず残念ながら参加できませんでした。もう少し募集を早めにしていただくか、年間行事予定に書いていただけるとありがたいです。

⇒ ボランティアにご協力いただきありがとうございます。なるべく年間行事予定表に記載するよう努めます。なお、PTA関連(草取りDayなど)は、PTA総会資料に掲載しております。また、例年、読み聞かせボランティア、水泳ボランティア、図書室整備、放課後学習教室についても4月下旬に「ボランティア通信」にてお知らせをしておりますのでご確認いただければ幸いです。

⇒ 各学年のボランティアについては、学習の進捗状況等によりますので、2・3週間前に周知することが多くなることをご理解ください。

・ 手紙の量が多く、毎回「どこに書いてあったかな」と、探すのが大変です。学校全体で取り組んでいただくと助かります。※このグーグルアンケートの自由記述欄が、改行できず、入力しにくいです。

⇒ ご意見いただきありがとうございます。配付物については、データ配信(テトルやクラスルーム)に段階的に移行していきたいと考えております。内容によっては、紙面配付とさせていただきます。

⇒ Google フォームの記述欄は改行できるよう設定いたします。

・ 写真の販売がありますが、学校で子どもが選んで購入出来るように学校販売して頂きたいです。

⇒ 写真の販売方法については、業者にお任せしているため、変更はできません。ご家庭でお子さんと一緒に選んでいただけたら幸いです。ご理解とご協力をお願いいたします。

- ・ 忘れ物を取りに来るな、は困ります。親の負担になると書いてありましたが水筒忘れると予備はありませんし週末体操着を忘れると汚れたまままた 1 週間着ることになるのでそちらの方が親の負担になると思います。

⇒ 忘れ物については、安全面や、忘れずに持ち帰る意識を高める、保護者の皆様の負担軽減等の理由から、原則、学校に取りに来ないように子どもたちに指導しております。水筒や週末の体操着等についても同様ですが、御事情がある場合は学校に取りに来ていただいても構いません。ご理解とご協力をお願いいたします。

- ・ ○○さん呼びをしなければいけないのは、不自然だと思います。変なあだ名で呼ぶのはもちろんダメですが。

⇒ 学校では以下の点から「さん」付けを指導しています。

①人格の平等と尊重の徹底

性別や身体的特徴、学年に関わらず、すべての子どもを対等な一人の人間として扱う姿勢を徹底し、いじめや差別につながる呼び方を未然に防ぎ、多様性を尊重する土壌を育みます。

②心理的安全性の確保

呼び方による上下関係や仲間外れが生まれにくくなり、誰もが安心して過ごせる温かい人間関係の基盤が作られます。職員も児童を 1 人の人として尊重することで、児童の自己肯定感を高めます。

③公的な場での規範意識の学習

学校という公的な集団生活の場での適切な言葉遣いを実践的に学びます。これは、家庭や私的な場とは異なる社会的なマナーであり、将来社会に出たときに必要な「場」に応じたコミュニケーション能力の基礎となります。

- ・ 新しくできた駐車場の使用について、抽選方法をとっているが一度当たった人は抽選から外すべきではないか。またイベントで駐車場を使用した日、その後子どもを迎えにきた場合も、その駐車場に空きができていのに、許可証がないと停められないのか、はっきり明記して欲しい。

⇒ 抽選方法については、それまでの当選者や未当選者を考慮せず、抽選を行っています。結果的に当選者に偏りがでることがありますが、「機会の平等」「運用のシンプルさ」の観点から、この抽選方法にしています。ご理解とご協力をお願いいたします。

⇒ 駐車場の使用規制時間について案内文書等でお示ししたいと思います。ご意見いただきありがとうございます。

- ・ 授業参観中、子どもの様子を見ずに廊下で話している保護者がいる。
- ・ 授業参観中、保護者の話し声が大きくて、参観に集中できない。

⇒ 参観マナーについてたくさんのご意見をいただきました。学習をしているお子さんと参観する保護者の皆様が気持ちよく過ごせるように、授業が始まりましたら、教室や廊下での私語はご遠慮ください。また、お知り合いに会われた際の挨拶は最小限に留め、お子さんの学びの様子を静かに見守ってください。携帯電話やスマートフォンはマナーモードに設定し、通話は校外でお願いします。ご理解と協力をお願いします。

この他にも、「子どもが、不安なことがあり先生に相談すると、その日のうちに解決できるようにアドバイスや対応をしてくださり感謝しています。」「学校が楽しいと言って帰ってくることが、本当にありがたいです。いつもありがとうございます。」「スマイルタイムの時間を谢谢你们のおかげでありがとうございます。子ども達からしっかり話を聞いてもらえて嬉しいです。」など、たくさんのお言葉もいただきました。励みになります。ありがとうございます。

様々な条件がある中で、学校にもできること・できないことがあります。子どもたちのより良い成長のために、職員と保護者の皆様が忌憚なく話し合える関係性が重要であると考えます。引き続き、気になることがありましたら、遠慮なく学校へお聞かせくださいますようお願いいたします。

